

様式例 13 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成27年7月13日

評価者：川崎市こども本部指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	川崎市青少年の家
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の管理運営及び維持保全に関すること 施設設備の利用許可及び提供に関すること 主催事業の企画実施に関すること 青少年教育行政、市政及び地域行政への協力に関すること 施設の設置目的に沿った施設の有効活用と利用促進に関すること その他、仕様書に定める指定管理業務に関すること
指定管理者	<p>名称：川崎市青少年の家共同運営事業体</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表者名 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 金井 則夫 川崎市中区今井南町 514-1 構成員名 特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター 理事長 宮田 進 川崎市高津区下作延 5-11-8
所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課（内線：43332）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。	<p>【事業実績】 （利用者数） 指定管理導入前：37,747人（平成17年度） 第1期：37,019人（年平均） 平成23年度：41,180人 平成24年度：40,783人 平成25年度：40,819人 平成26年度：40,592人</p> <p>【評価】 予約の空き状況をホームページ上で公開し、学校団体以外も利用できることをアピールし、平日の比較的空いている時間帯の利用を促進した。また数回のレイアウト変更を経て、利用者に見やすいホームページを作成し情報の提供を行い、第1期に比べ高い利用者数を記録した。 夏期にはプール開放を行い小学生延べ351人（平成26年度実績）が利用、プールでのゲームや記録会も開催した。また、地域連携や仲間づくり事業として、小学生対象のエコ学習事業「エコチャレンジクラブ」や乳幼児親子を対象とした「よちよち歩きの子あつまれ」事業などを行い、ニーズに応えた。学校との連携事業では、4泊5日で当施設から通学する「ほのほのスクール」を実施、子ども達の自立を促す機会を提供し、連携を深めた。</p>
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<p>【事業目的】 団体宿泊研修等を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする。</p> <p>【評価】 子ども運営委員会の意見を取り入れ「レッツチャレンジASOBI」と題し昔遊びの講座を実施するなど、指定管理申込時に提案した業務以上に、青少年の育成を目的とした事業を展開した。</p>
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<p>緊急対応マニュアルを作成し、防犯のための取組や法定訓練等を実施していた。また、修繕の必要な箇所を把握し、利用者の声を聞きながら適正に管理を行った。 夏期プール利用については生活指導員を配置し、事故無く終了した。</p>

4	更なるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。	中高生のスポーツイベント参加のための宿泊や一般団体の利用が増えた一方、青少年団体による利用は減少傾向にあり、本来の対象である青少年団体の利用促進が課題となっている。
---	--------------------------------	--

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<p>【所管課によるマネジメント状況】</p> <p>年度評価の実施（年1回） 定期的な報告内容の確認（月1回・四半期） 連絡調整会議の実施（年1回） 電話等及び実地調査の実施（随時）</p> <p>【評価】</p> <p>日常の電話等での連絡調整はもちろんのこと、指定管理者を集めた連絡調整会議での情報共有、事業評価を通じた適正な業務実施の確認など、適正なマネジメントが行われた。</p> <p>改善指導した点は、数値目標の設定とそれに対応した事業の振り返り、さらに前年度の反省を踏まえての新年度の目標設定を青少年育成課から指導し、指定管理者は指導どおりに平成26年度から実践している。</p>
2	制度活用による効果はあったか。	<p>（サービスの向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度導入後、第1期、第2期と利用者数を順調に増やしてきた。 ・ホームページの充実を図り、年度平均利用者数が第1期指定管理期間に比べ10.0%増となった。 <p>【年度平均利用者数】</p> <p>指定管理制度導入前（H17年）：37,747人 第1期（H18～22年度）：37,019人 第2期（H23～年度）：40,844人</p> <p>【経費実績】</p> <p>指定管理制度導入前（H17年）：年94,689千円 第1期（H18～22年度）：年75,436千円 第2期（H23年度～）：年73,877千円</p> <p>【評価】</p> <p>利用者数は遡増であったが、経費については、指定管理者制度導入前（平成17年度）は年94,689千円であったが、第2期は年平均73,877千円であることから、年間20,812千円、指定管理期間（5年）全体では、104,060千円の経費節減効果が認められた。</p>
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	施設の老朽化に伴う修繕が多く発生しており、施設の長寿命化を含めた施設保全が課題になっている。
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<p>指定管理者制度の導入により、直営時よりも低いコストで、直営時以上のサービス提供を行うことができています。</p> <p>青少年の体験活動の機会が減少している昨今、市内の比較的中央に位置する当施設は需要の高まりが見込まれる。</p> <p>直営に戻して管理運営を行うことはコスト面から見ても現実的でなく、今後も5年間の指定管理者制度を継続する方針とする。</p>

4. 今後の事業運営方針について

<p>指定管理者制度も第2期を迎え、年度平均利用者数が第1期に比べ10.0%増となった。指定管理者制度の導入により、直営時よりも低いコストで、直営時以上のサービス提供を行うことができています。</p> <p>市内外の特別支援学級・学校の利用も増えており、スポーツの試合のため中高生団体が宿泊するケースも増えている。市内の比較的中央に位置する当施設の需要は高まることが予想される中、引き続き指定管理者による管理運営を行うことが望ましい。</p>
